

株式の状況

Stock Information

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	18,970,000株
発行済株式の総数	7,378,050株
株主数	2,101名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高田信子	784,000	10.65
積水樹脂株式会社	777,000	10.56
ケー・エフ・シー取引先持株会	421,300	5.72
高田俊太	399,100	5.42
株式会社三菱UFJ銀行	307,000	4.17
株式会社中外精工	175,000	2.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	153,800	2.09
エムエステイ保険サービス株式会社	150,000	2.04
那須電機鉄工株式会社	125,200	1.70
上田薫	125,000	1.70

(注)持株比率は、自己株式(18,512株)を控除して算出しております。

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	
定時株主総会	3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
	その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL(通話料無料)0120(094)777
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ウェブサイト https://www.kfc-net.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取請求受付場所	証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。 証券会社等ご利用でない株主様は上記特別口座管理機関にお申し出ください。

KFC REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追い求めて

第60期中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



ホーク・ネイリング 試験施工状況



DIY SHOW 2023 壁生活 展示ブース
(幕張メッセ)



株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420

株式会社 ケー・エフ・シー

Trust Safety Functionality

信頼

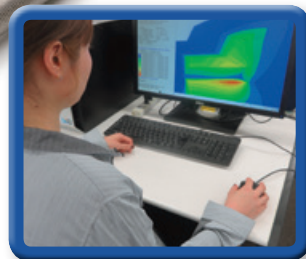
安全

機能性

時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀 建設用アンカーのパイオニア

建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで幅広く対応しております。

当社では、埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けております。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しております。



設計・技術開発

現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。



現場施工

トピックス

Topics

「ホーク・MGSアンカー」を上市しました。

「ホーク・MGSアンカー」はマンホール下柵と鉄蓋枠固定用に推奨するあと施工アンカーです。

- 主な特徴**
- 日本下水道協会のG4規格に適合する製品です。
 - マンホール補修、取替工事等にご使用いただけます。
 - 打込み式ではないため、マンホールの下柵に過度な衝撃を与えません。
 - 機械施工のため、施工者の熟練度に左右されない商品です。
 - 下柵境界との摩擦により、樹脂の硬化前でも次工程に移ることが可能です。
 - アンカー本体と下柵との摩擦により、樹脂の硬化時間までに道路を開放することが可能です。
 - エポキシ樹脂との併用により安定した引張耐力を確保できます。



ホーク・MGSアンカー



専用エポキシ樹脂



水害対策に

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 高田 俊太



当上半期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、雇用・所得環境が改善する中、設備投資の持ち直しや公共投資が堅調に推移したことなどにより、景気は緩やかな回復が続くことが期待されております。一方、世界的な金融引き締めが続く中、物価上昇や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れリスクもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、慢性的な建設技術者、技能労働者の不足や建設資材の高騰など、業界を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループの当上半期の連結業績につきましては、売上高は108億55百万円となりました。収益面につきましては、売上高の増加の影響などにより、経常利益3億29百万円、親会社株主に帰属する中間純利益2億14百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、世界的な物価上昇の影響を受けながらも、コロナ禍からの社会経済活動の再開で個人消費や設備投資並びにインバウンド消費が活発化するものと見込まれますが、引き続き金融情勢、地政学リスクに注視が必要な状況にあります。

一方、建設業界においては、建設資材価格や運搬費の高騰、少子高齢化に伴う人材不足、若年労働者の確保や働き方改革による労働環境の多様化など多くの課題を抱えており、事業環境をめぐる見通しは今なお不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は今後の成長に向けて、「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画（2021～2023年度）」において掲げた「収益力の向上」「技術・開発力の強化」「働き方改革」「経営基盤の再構築」の基本戦略を再度徹底し、コアコンピタンスを磨いてまいります。

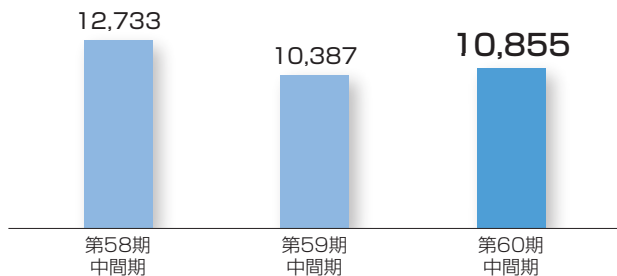
更には、常にオンリーワン技術にチャレンジしてきた当社の成長の方程式に照らし、時代のニーズに対応するため新たな技術開発体制を構築し、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する「業界のリーディングカンパニー」として企業体制を確立してまいります。

これらの着実な積み重ねにより、持続的成長を可能にする強固な経営基盤を確保し、いかなる市場環境においてもステークホルダーの皆様のご期待に応えることができる企業力を築いてまいります。

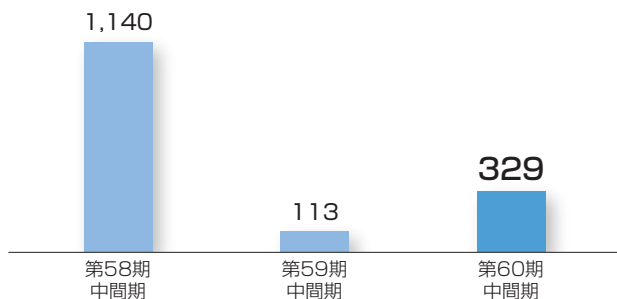
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(単位:百万円)

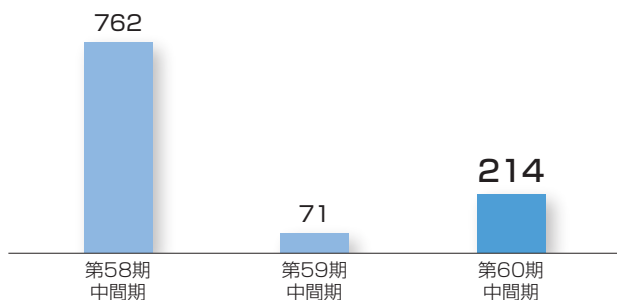
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



ファスナー事業

売上高
32億99百万円

前年同期比
4.5%
増



「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材の販売は前年同期と同水準で推移し、耐震関連工事の売り上げが増加したことなどにより、売上高は増加しました。



ホーク・MGSアンカー



JCAA製品認証試験状況

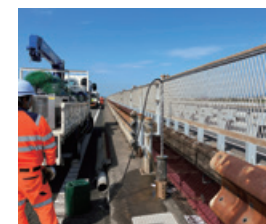
土木資材事業

売上高
36億98百万円

前年同期比
16.4%
増



東・西日本地区ともに主力商品であるロックボルトやトンネル掘削補助工法にかかる土木資材の販売が順調に推移し、売上高は増加しました。



GPR工法 施工状況(腐食支柱補強)



パデムシート(重金属吸着シート)施工状況

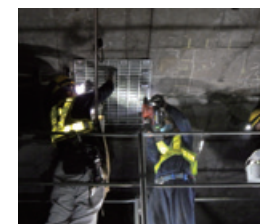
建設事業

売上高
38億57百万円

前年同期比
4.8%
減



当期の受注工事高については順調に推移し、建設資材の販売も前年同期と比較して堅調に推移しているものの、その他大型工事物件が一巡したことなどにより、売上高は減少しました。



ガイナメッシュ工法 施工状況

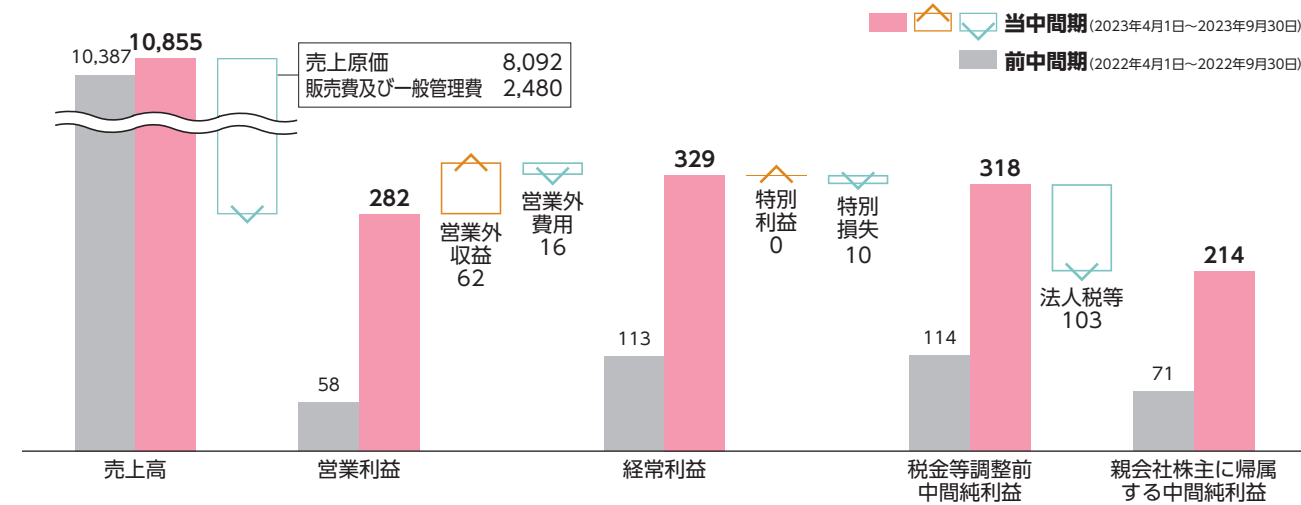


境トンネル 断面修復工事

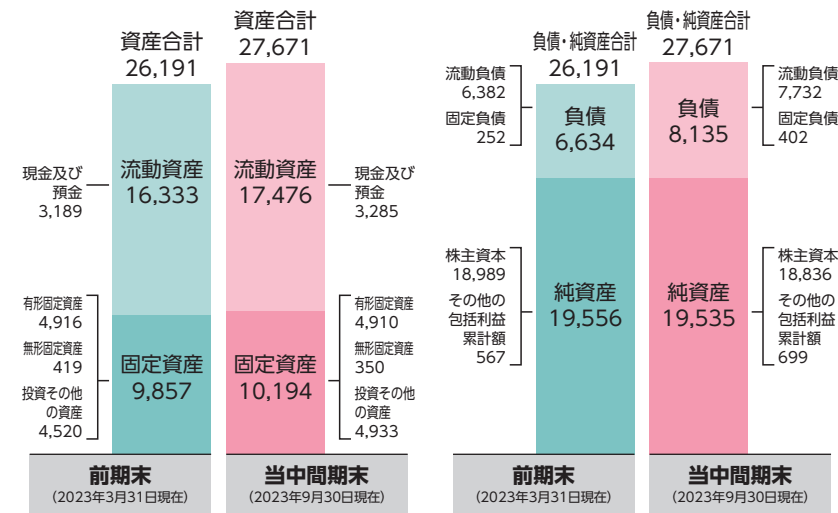
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

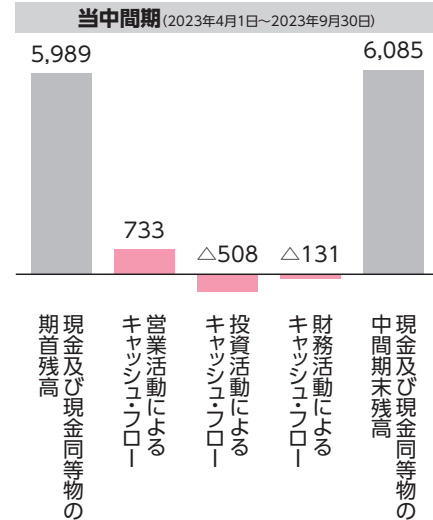
中間連結損益計算書 (単位:百万円)



中間連結貸借対照表 (単位:百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



会社の概況

Corporate Profile

(2023年9月30日現在)

商号 株式会社 ケー・エフ・シー

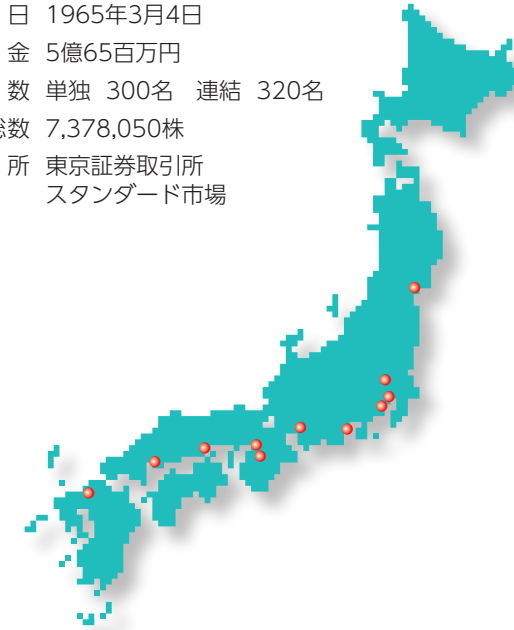
設立年月日 1965年3月4日

資本金 5億65百万円

従業員数 単独 300名 連結 320名

発行済株式の総数 7,378,050株

上場証券取引所 東京証券取引所
スタンダード市場



役員

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高田 俊太
専務取締役(兼)専務執行役員	石田 裕宗
常務取締役(兼)常務執行役員	堀口 康郎
常務取締役(兼)常務執行役員	羽馬 徹
取締役(兼)執行役員	石原 淳
取締役(兼)執行役員	稲葉 朗
取締役(兼)執行役員	田村 知幸
社外取締役	佐野 裕
社外取締役	中桐 万里子
常勤監査役	山口 義弘
社外監査役	五島 洋彦
社外監査役	渡部 靖彦

執行役員

執行役員	大平 康史
執行役員	村井 良和
執行役員	千足 裕一
執行役員	新井 吉幸
執行役員	菅原 崇秀

本店・本社

本店 〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4188

東京本社 〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-8250
芝パークビルB館11階

流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
大阪府富田林市若松町東 TEL(0721)24-7511
3丁目4番2号

関東流通センター 〒347-0010
埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0091

技術研究所

〒347-0010
埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0095
〒584-0023
大阪府富田林市若松町東 TEL(0721)24-7511
3丁目4番2号

営業所

東北営業所 〒981-3133
仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL(022)772-3981

横浜営業所 〒224-0061
横浜市都筑区大丸8番4号 TEL(045)949-5801
都筑岩澤ビル

静岡営業所 〒422-8043
静岡市駿河区中田本町45番16号 TEL(054)654-5670

名古屋ファスナー部 〒461-0048
名古屋市東区矢田南 TEL(052)711-8088
5丁目1番11号

岡山営業所 〒700-0975
岡山市北区今7丁目7番13号 TEL(086)243-5722

中国営業所 〒732-0811
広島市南区段原4丁目5番2号 TEL(082)568-4750

福岡営業所 〒812-0016
福岡市博多区博多駅前6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL(092)461-2735

連結子会社(国内)

アールシーアイ株式会社
大阪本店 〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4362

東京本社 〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-7570
芝パークビルB館11階